AWS　EBS(ラボ4)演習

クラス　　　　No. 氏名

□ラボ 4 : EBS を使用する

□タスク 1 : 新しい EBS ボリュームを作成する

1. EC2のインスタンスに「Lab」が作成されたか確認しなさい。[　確認できた　]

2.Labのアベイラビリティゾーンは[　　**us-east-1a**　　]

3.ボリュームを作成しなさい。

　1.ボリュームは作成できたか。[　作成できた　　]

　2.ボリュームID：[　vol-03617a123c36c7af1　 ]

　　＊状態が「available」になればOKです。

□タスク 2 : インスタンスにボリュームをアタッチする

1.作成したボリュームを「Lab」にアタッチしなさい。「in-use」になったか確認しなさい。

[　確認できた　]

□タスク 3 : Amazon EC2 インスタンスに接続する

　EC2 Instance Connectを使用してEC2に接続できたか

　　[　ログインできた　]

□タスク 4 : ファイルシステムを作成して設定する

1.df -hコマンドでストレージの内容を確認しなさい。

　devtmpfsについて調べなさい(Size Used Avail Use% Mounted on)。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-10-1-11-161 ~]$ df -h  Filesystem Size Used Avail Use% Mounted on  devtmpfs 4.0M 0 4.0M 0% /dev  tmpfs 475M 0 475M 0% /dev/shm  tmpfs 190M 2.9M 188M 2% /run  /dev/xvda1 8.0G 1.6G 6.5G 20% /  tmpfs 475M 0 475M 0% /tmp  /dev/xvda128 10M 1.3M 8.7M 13% /boot/efi  tmpfs 95M 0 95M 0% /run/user/1000 |

2.ext3ファイルが作成できたか確認しなさい。コマンドはLabを参照すること。

　1.cat /etc/fstabの結果を記述しなさい。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-10-1-11-161 ~]$ cat /etc/fstab  #  UUID=f2b2ef41-737e-43c2-8746-a8a3b0a9feb8 / xfs defaults,noatime 1 1  UUID=D6C4-DA90 /boot/efi vfat defaults,noatime,uid=0,gid=0,umask=0077,shortname=winnt,x-systemd.automount 0 2  /dev/sdf /mnt/data-store ext3 defaults,noatime 1 2 |

2.df –hで「/dev/xvdf」が作成された確認しなさい。　[　作成できた　]

3.次のコマンドを実行して結果を記述しなさい。（手順24、25）

|  |
| --- |
| sudo sh -c "echo some text has been written > /mnt/data-store/file.txt"  cat /mnt/data-store/file.txt |

　cat /mnt/data-store/file.txtを実行し、表示された文字列は[　some text has been written　]

□タスク 5 : Amazon EBS スナップショットを作成する

1.スナップショットを作成しなさい。確認はメニューの「スナップショット」で行うこと。[　確認できた　]

2.スナップショットID：[snap-0296e5244652d978f]

3.ボリュームに作成したファイル「file.txt」を削除しなさい。[　削除できた　　]

　　＊file.txtが表示されなければOK。

□タスク 6 : Amazon EBS スナップショットを復元する

1.スナップショットを使用してボリューム「Restored Volume」を作成しなさい。[　作成できた　]

　＊サイズなどの指定にも注意すること。

2.作成されたボリュームID：[vol-0465148c918db30e5]

3.作成したボリュームをアタッチしなさい。in-useになったか確認しなさい。[　確認できた　]

4.復元したボリュームをマウントしてfile.txtが表示されるか確認しなさい。[　確認できた　]

　＊コマンドはLabを参照すること。

5.4で確認できたら「cat /mnt/data-store2/file.txt」を実行しなさい。また、確認したファイルの内容を記述しなさ

い。

　[ some text has been written ]

* **ラボの説明ページにある「Submit」ボタンを忘れずクリックしてください。**
* **このWordファイルも提出してください。**

余裕があれば、「タスク3」でEC2 Instance Connectを使用する代わりに、いつものように自分の端末からTeraTermなどを使用し、LabのEC2に接続してみよう。

1. ラボの説明ページにあるAWS Details（Start Labの右）からキーをダウンロードする。[　できた　]

2. EC2のパブリックIPv4アドレス：[ 54.82.50.82 ]

3. Tera Termなどでアクセスしなさい。

　　ユーザ名：ec2-user キー：labsuser.pem(ダウンロードしたもの)

　　[　ログインできた　]

もし、ログインできない場合は、踏み台サーバーをEC2で作成する必要があるかもしれません。

ログインできた・できないに関わらず、別紙（実習09-0）を参考に踏み台サーバー経由でアクセスしてみましょう。